



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 大同特殊鋼株式会社

コード番号 5471 URL <http://www.daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋尾 正

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 林 克彦

TEL 052-963-7501

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	366,307	4.4	23,686	△11.2	23,576	△9.8	15,951	△16.8
23年3月期第3四半期	350,710	37.3	26,665	—	26,135	—	19,173	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 12,133百万円 (△38.1%) 23年3月期第3四半期 19,598百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	36.77	—
23年3月期第3四半期	44.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第3四半期	508,214		218,666		36.6
23年3月期	491,721		209,869		36.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 186,204百万円 23年3月期 178,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年3月期	—	3.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	480,000	1.7	30,500	△6.8	30,000	△5.4	20,000	△13.1	46.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	434,487,693 株	23年3月期	434,487,693 株
24年3月期3Q	703,186 株	23年3月期	664,346 株
24年3月期3Q	433,806,161 株	23年3月期3Q	433,840,889 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付書類】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	4
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	4
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3.	四半期連結財務諸表	6
(1)	四半期連結貸借対照表	6
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
	四半期連結損益計算書	8
	四半期連結包括利益計算書	9
(3)	継続企業の前提に関する注記	10
(4)	セグメント情報	10
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4.	補足説明資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による一時的な景気停滞からサプライチェーンの復旧に伴って順調な回復を続けてきましたが、欧州債務問題の再燃、円高進展等の影響から回復のペースは大きく鈍化いたしました。特殊鋼の主要需要先である自動車および産機・IT 関連需要に関しても概ね堅調な推移を続けてきたものの、海外景気の減速やタイ洪水影響を反映して弱含みの動きが見られております。

このような経営環境のもと当社グループにおきましては、需要動向が大きな変動を続ける中、柔軟な生産対応を実施し、震災後の急激な減産や夏季の節電要請に応えるとともに秋口からの需要拡大へも対応してまいりました。

その結果、当第 3 四半期連結累計期間における当社グループは、期初において震災による主要需要先の減産影響を受けたものの、その後の需要回復と各種の増産対応を進めたことから、昨年対比の生産・販売数量は増加いたしました。また売上高につきましては販売数量の増加と鉄スクラップ価格等を反映した販売価格の上昇により、前年同期比155億96百万円増収の3,663億7百万円となり、経常利益につきましては前年同期比25億59百万円減益の235億76百万円、四半期純利益は159億51百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材部門につきましては、自動車関連需要は期初の震災によるサプライチェーンの停滞やタイの洪水によって一時的に完成車生産の減産影響を受けたものの、海外需要の拡大を背景に総じて堅調に推移いたしました。一方、産業機械関連は底堅い需要が継続しておりましたが、秋口以降欧州および新興国景気の減速感を反映して、調整傾向が見られております。

こうした需要環境のもと当社におきましては、経営環境の変化に柔軟に対応しながら生産活動を推進してまいりました。夏季電力の節電要請やその後の増産要請に対応するため、前倒し生産や勤務シフト変更等の生産平準化対応を行い、また各種の増産施策の推進やコスト削減についても継続して取り組んでまいりました。

その結果、当第 3 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上数量は前年同期比2.4%の増加となり、売上金額については前年同期比3.8%増加の2,219億28百万円となりました。

②電子・磁性材料

高合金製品につきましては、自動車向け製品は震災後の生産回復を受けて堅調に推移したものの、IT 関連製品が市況の悪化と在庫調整によって大きく減少したことから、前年対比の売上高は減少いたしました。磁材製品に関しては、HDD 向け磁石が IT 関連需要の落ち込みとタイ洪水影響によって大きく減少したものの、電動パワステ用モーター磁石の拡大と中国の磁石製造会社の新規連結化等によって売上高は増加しました。

その結果、当第 3 四半期連結累計期間の電子・磁性材料の売上高は前年同期比7.2%増加の323億2百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自動車部品関連につきましては、震災による自動車各社の一時的な減産影響があったものの、その後の生産回復と東南アジア向けトラック需要の拡大等によって売上高は増加いたしました。また、精密鋳造品につきましても、一部ユーザーのタイ洪水による減産影響があったものの、海外でのターボ搭載車拡大を受けて売上高は増加いたしました。産業機械部品関連は、国内設備投資の低迷と円高による輸出関連需要の伸び悩みはあるものの、ガスタービン部材等の復興関連需要と資源掘削用部材の拡販などにより前年対比の売上高は増加いたしました。

その結果、当第 3 四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は前年同期比 5.5%増加の808億円となりました。

④エンジニアリング

エンジニアリング部門につきましては、国内需要は低位に留まっているものの、部品・メンテナンス需要およびスポット案件の増加によって概ね前年並みの売上となりました。また中国現地法人での拡販活動を進めた結果、熱処理炉等の海外案件が増加しております。

その結果、当第 3 四半期連結累計期間のエンジニアリングの売上高は前年同期比7.6%増加の172億95百万円となりました。

⑤新素材

粉末製品につきましては、震災による一時的な需要の落ち込みは見られたものの、自動車生産の正常化およびHEV向け機能性粉末の増産等により売上高は増加いたしました。チタン製品につきましては、国内市場の回復は見られるものの、為替ユーロ安による輸出環境の悪化影響を受けております。

その結果、当第 3 四半期連結累計期間の新素材の売上高は前年同期比7.3%減少の66億47百万円となりました。

⑥流通・サービス

流通・サービス部門につきましては、サービス部門において震災による影響が散見されたものの、海外商社の拡販等により、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比6.4%増加の73億32百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ164億92百万円増加し5,082億14百万円となりました。総資産の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「現金及び預金」の増加94億99百万円…主として利益計上および借入れ実施による増加。

また、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産額は、前連結会計年度末に比べ87億97百万円増加し2,186億66百万円となりました。純資産額の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「利益剰余金」の増加131億58百万円…主として四半期純利益159億51百万円の計上による増加。
- ・「その他有価証券評価差額金」の減少49億79百万円…主として保有株式の時価の下落による減少。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は36.6%となり、前連結会計年度末と比べ0.3ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の日本経済は、震災による期初の大幅な落ち込みから生産活動の正常化に伴って持ち直し傾向が続いてきましたが、ここに来て円高による輸出環境の悪化から景気の減速感が急速に増大してきており、また海外需要に関しても欧米諸国における財政、金融システムの動揺や新興国市場でのインフレと金融引き締めによる悪影響が高まっていることから、景気の下振れ懸念が顕在化してきております。

特殊鋼の主要需要先である日系自動車産業に関しては、新興国市場の成長を背景として引き続き拡大する見通しであり、タイ洪水影響等による一時的な減速はあるものの、第4四半期以降も堅調に推移すると考えられます。他方、産業機械・IT関連需要については海外を中心とした景気動向の影響を大きく受けることから、今後とも需要下振れのリスクに十分留意していく必要があると思われれます。

このような状況を踏まえ、通期のセグメントの状況を以下のように想定しております。

①特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材需要は自動車関連分野に関しては概ね堅調に推移しておりますが、その他の需要分野については景気の不透明感を反映して一部在庫調整の動きが出ており、今後の動向を注視してまいります。一方、知多工場を始めとする生産設備の稼働体制に関しては、来年度以降の需要動向および電力制約等を勘案し、生産負荷の平準化を目指した運営を進めてまいります。また、鉄スクラップ等の主要な原材料価格については先行きの景気不透明感を反映して安定的に推移しておりますが、投機的資金や景気動向によって大きく変動する可能性があり、サーチャージ制の導入やコスト削減努力に注力してまいります。

②電子・磁性材料

IT関連需要については世界景気の減速感と関連部品の在庫調整を反映して弱含みの状態にあり、またタイにおける洪水影響から当面は低位に推移すると思われれます。一方、自動車向け電動パワステ用磁石に関しては、自動車需要の拡大と搭載率の上昇等を反映して引き続き堅調に推移

すると想定しております。なお、HDD用モーター磁石を生産しているタイの現地法人は洪水被害を受け生産を停止しておりましたが、復旧活動の進展から一部操業を再開しており、今期中には生産活動を正常化できると考えております。

③自動車部品・産業機械部品

自動車部品関連については、生産正常化後の需要は引き続き堅調なものの、海外景気下振れによる自動車販売動向によって減少する可能性もあり、先行きの動きを注視してまいります。ターボ関連需要については、欧州市場の影響を大きく受けるため欧州景気および為替動向に懸念材料が見られますが、中長期にはグローバルな需要拡大が見込まれることから、本年1月よりターボ部品生産ラインを増設いたしました。産業機械部品については、設備投資の持ち直しや復興関連需要の増加が期待されますが、先行きの景気や為替動向による影響が懸念されます。

④エンジニアリング

国内需要は引き続き低位に留まる見通しですが、中国をはじめとする新興国市場での引き合いは活発化しており、営業機能の強化を進めて海外市場の開拓を推進してまいります。

⑤新素材

粉末材料については、自動車向けの需要が概ね堅調に推移すると考えております。またチタン製品に関しては、国内市場は堅調なものの円高影響により輸出の低迷が継続すると想定しております。

⑥流通・サービス

流通・サービス部門につきましては、概ね前年並みの需要を見込んでおります。

以上のことから、当期の連結業績につきましては、先行きの景気動向に不透明感が見られるものの、自動車関連需要が比較的堅調に推移していること等を踏まえて売上高4,800億円、営業利益305億円、経常利益300億円、当期純利益200億円の前回（平成23年10月31日）予想を据え置いております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,471	56,971
受取手形及び売掛金	98,582	113,488
たな卸資産	92,327	92,864
その他	9,481	8,939
貸倒引当金	△339	△388
流動資産合計	247,523	271,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	51,386	50,589
機械装置及び運搬具（純額）	61,809	62,204
その他（純額）	41,754	42,170
有形固定資産合計	154,950	154,964
無形固定資産		
のれん	—	0
その他	2,370	2,417
無形固定資産合計	2,370	2,417
投資その他の資産		
投資有価証券	61,763	52,523
その他	25,532	26,841
貸倒引当金	△418	△407
投資その他の資産合計	86,877	78,957
固定資産合計	244,198	236,339
資産合計	491,721	508,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,918	73,268
短期借入金	48,782	57,291
1年内償還予定の社債	100	100
未払法人税等	5,196	833
賞与引当金	6,822	2,949
その他の引当金	397	163
その他	16,261	19,165
流動負債合計	148,478	153,772
固定負債		
社債	30,900	40,850
長期借入金	76,900	73,820
退職給付引当金	6,877	6,945
その他の引当金	1,458	1,260
負ののれん	4	—
その他	17,233	12,898
固定負債合計	133,374	135,774
負債合計	281,852	289,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,542	28,542
利益剰余金	106,919	120,077
自己株式	△310	△330
株主資本合計	172,323	185,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,961	982
繰延ヘッジ損益	△3	△4
土地再評価差額金	1,356	1,654
為替換算調整勘定	△1,290	△1,890
その他の包括利益累計額合計	6,024	742
少数株主持分	31,520	32,462
純資産合計	209,869	218,666
負債純資産合計	491,721	508,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	350,710	366,307
売上原価	289,736	305,791
売上総利益	60,974	60,515
販売費及び一般管理費	34,308	36,829
営業利益	26,665	23,686
営業外収益		
受取利息	57	67
受取配当金	1,140	1,196
持分法による投資利益	562	541
その他	1,197	1,201
営業外収益合計	2,958	3,007
営業外費用		
支払利息	1,880	1,766
為替差損	676	412
その他	931	939
営業外費用合計	3,487	3,117
経常利益	26,135	23,576
特別利益		
固定資産売却益	225	177
出資金清算益	63	—
投資有価証券売却益	17	—
その他	10	—
特別利益合計	317	177
特別損失		
投資有価証券評価損	28	1,302
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	473	—
その他	150	579
特別損失合計	651	1,882
税金等調整前四半期純利益	25,801	21,871
法人税、住民税及び事業税	3,847	2,473
法人税等調整額	780	1,750
法人税等合計	4,627	4,224
少数株主損益調整前四半期純利益	21,174	17,647
少数株主利益	2,001	1,695
四半期純利益	19,173	15,951

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,174	17,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,196	△5,067
繰延ヘッジ損益	△3	△1
土地再評価差額金	—	297
為替換算調整勘定	△373	△704
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△38
その他の包括利益合計	△1,575	△5,513
四半期包括利益	19,598	12,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,714	10,669
少数株主に係る四半期包括利益	1,884	1,464

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)

(単位: 百万円)

	特殊鋼 鋼材	電子・ 磁性材料	自動車部 品・産業 機械部品	エンジニ アリング	新素材	流通・ サービス	合計	調整額 (注 1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注 2)
売上高									
外部顧客への売 上高	213,810	30,140	76,620	16,075	7,173	6,890	350,710	—	350,710
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	27,765	1,352	18,473	807	582	5,129	54,111	△54,111	—
計	241,576	31,493	95,094	16,882	7,755	12,019	404,822	△54,111	350,710
セグメント利益	17,256	1,516	5,466	1,135	355	942	26,672	△6	26,665

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)

(単位: 百万円)

	特殊鋼 鋼材	電子・ 磁性材料	自動車部 品・産業 機械部品	エンジニ アリング	新素材	流通・ サービス	合計	調整額 (注 1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注 2)
売上高									
外部顧客への売 上高	221,928	32,302	80,800	17,295	6,647	7,332	366,307	—	366,307
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	26,379	854	19,296	1,534	543	6,092	54,701	△54,701	—
計	248,307	33,157	100,096	18,830	7,191	13,424	421,008	△54,701	366,307
セグメント利益	16,044	1,335	3,700	1,184	358	1,065	23,689	△3	23,686

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足説明資料

平成24年1月31日
大同特殊鋼株式会社

平成24年3月期 第3四半期決算発表

連 結

(1) 当第3四半期のセグメント別売上高
(単位：百万円、%)

	23年12月 第3四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
特殊鋼鋼材	221,928	8,117	3.8
電子・磁性材料	32,302	2,162	7.2
自動車・産業機械部品	80,800	4,179	5.5
エンシ [®] ニアリンク [®]	17,295	1,220	7.6
新 素 材	6,647	-525	-7.3
流通・サービ [®] ス	7,332	442	6.4
計	366,307	15,596	4.4

(2) 要約連結損益計算書 (四半期累計期間)
(単位：百万円、%)

	23年12月 第3四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
売上高	366,307	15,596	4.4
営業利益	23,686	-2,978	-11.2
営業外収益	3,007	49	—
営業外費用	3,117	-369	—
経常利益	23,576	-2,559	-9.8
特別利益	177	-140	—
特別損失	1,882	1,230	—
税引前純利益	21,871	-3,930	—
法人税等	4,224	-403	—
少数株主利益	1,695	-305	—
当期純利益	15,951	-3,221	-16.8

(3) 当第3四半期の経常利益増減要因 (前年同期対比)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売価格是正	40	1. 固定費の増加	45
2. 販売数量増加	19	2. 原材料等市況	34
3. 営業外損益他	5	3. 内容構成差他	8
		4. 変動費悪化	2
計 (a)	64	計 (b)	89
		差引 (a) - (b)	-25

(単位：億円)

(参考：原料市況)

	22年12月 第3四半期	23年12月 第3四半期
H2建値 (千円/t)	26.5	29.5
ニッケル(LME) (\$/1b)	10.17	9.78
モリブデン(MW) (\$/1b)	15.7	14.9

(4) 要約連結貸借対照表

科目	前期	当第3四半期	増減	科目	前期	当第3四半期	増減
	23年3月末	23年12月末			23年3月末	23年12月末	
流動資産	247,523	271,874	24,351	負債	281,852	289,547	7,694
現預金	47,471	56,971	9,499	営業債務	70,918	73,268	2,349
営業債権	98,582	113,488	14,906	有利子負債	157,445	172,741	15,295
たな卸資産	92,327	92,864	536	その他	53,488	43,537	-9,950
その他	9,141	8,550	-591				
固定資産	244,198	236,339	-7,858	純資産	209,869	218,666	8,797
有形固定資産	154,950	154,964	14	株主資本	172,323	185,462	13,138
無形固定資産	2,370	2,417	47	その他の包括利益 累計額	6,024	742	-5,282
投資その他の資産	86,877	78,957	-7,920	少数株主持分	31,520	32,462	941
資産合計	491,721	508,214	16,492	負債純資産合計	491,721	508,214	16,492

(単位：百万円)